

# 地域連携だより



## 第2回善通寺市

## 在宅医療・介護連携研修会

3月7日、善通寺市総合会館にて、第2回目の在宅医療・介護連携研修会を開催しました。今回は、36名の参加者にお集まりいただきました。医師会、歯科医師会、薬剤師会、四国こどもととなの医療センター、各介護事業所の皆様、ご参加ありがとうございました。

会は、まず初めに薬剤師会の穂山氏より「在宅で薬剤師ができること」のテーマで、普段、薬剤師さんとの関わりがない方にもわかりやすく実際の事例を用いてお話していただきました。その後、自己紹介や名刺交換をする中で、今まで連絡を取ったことがなかったり、電話でしか話をしたことがなかったという方と実際に顔を見てお話することで、その後連絡が取りやすくなっているとの声が聞かれました。アイスブレイクとして行ったチーム新聞紙タワーゲームでは、参加者同士がお互いに意見を出し、協力し合いながら一つのを完成させるという体験ができました。

今回の研修では、個人ワークを行った後にグループワークを実施しました。ワークのテーマは、『つながりを見える化してみましよう』で、善通寺市地域包括支援センター発行の「在宅医療・介護情報マップ」を使って自分や自分の職場は市内の病院、薬局、歯科診療所、各介護事業所とどのくらい連携がとれているのか、実際にマップに矢印を書き込むことで、連携の有無や強さを目で確認し、参加者それぞれの課題を考えていきました。そして、個人ワークで出た課題をグループメンバーと共有し自身のことを振り返ることで、意外と連携すべきところと連携できていなかったという意見や、連携を取ってみたいけれどその手段や窓口が分からないといった意見が多く出てきていました。それをグループ内での話し合いやグループ発表でお話いただくことで、他の参加者から疑問解決の糸口になる情報をもらうことができている方もいらっしゃいました。

穂山薬剤師さんのご講義



### ✿実施内容✿

- ① 穂山薬剤師さんのご講義
- ② 自己紹介(名刺交換)
- ③ チーム新聞紙タワーゲーム
- ④ 個人ワーク&グループワーク

<穂山薬剤師さんのご講義より>

★薬剤師が在宅でできること

⇒患者さんの生活に対応した

- ・薬の保管方法の提案
- ・処方設計の提案
- ・処方量の提案

★薬のことで問題があれば、ぜひ薬剤師にご相談を！

個人ワーク→グループワーク

グループごとに発表



ご存知ですか？

使っていますか？

普通寺市では、「在宅医療・介護情報マップ」と「普通寺市認知症ケアパス」を作成し、普通寺市内の各家庭に全戸配布したり、各医療機関・介護事業所に配布したり、市ホームページに掲載しておりますが、その認知度はまだまだのようです。

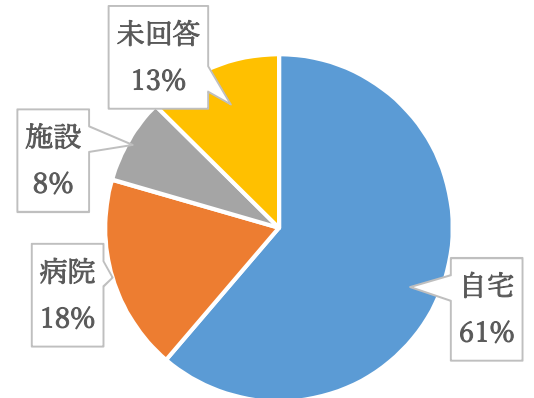
「在宅医療・介護情報マップ」は、普通寺市内の医療や介護に関する情報をまとめた冊子です。

「普通寺市認知症ケアパス」は、認知症の人やそのご家族、周囲の方が認知症と疑われる症状が発生した場合に、生活機能障害の進行状況に合わせて、いつ・どこで・どのような医療・介護サービスを受けることができるのかを示した冊子です。

## 人生の最期は、どこで迎えたいですか？

平成30年1月、普通寺市地域包括支援センターでは、77歳の普通寺市民を対象としたアンケートの中で、「人生の最期は、どこで迎えたいですか？」という問いを投げかけてみました。77歳といえば、現在の日本の健康寿命をすでに超えた年齢であり、医療や介護を必要としている人も多い年齢です。

結果はやはり、自宅がもっとも多く半分以上の方ができれば自宅で最期を迎えたいと思っているようです。このような住民の願いを私たち医療・介護関係者は知り、お互いに今後の方向性を考える中で役立てていけたらと考えております。



普通寺市地域包括支援センター（高齢者課内）  
**TEL** (0877)63-6364 **FAX** (0877)63-3778  
**Mail** houkatsu@city.zentsuji.kagawa.jp

平成30年度も在宅医療・介護連携研修会をはじめ、さまざまなことに取り組んでいけたらと思っておりますので、皆様ご協力をよろしくお願いいたします。